

科目ナンバリング	科目名	教員名
	少年法B	大塚 英理子

開講詳細			
開講キャンパス	開講時期	曜日時限	単位数
渋谷	2025年度集中、2026年度集中	集中講義	2単位

講義授業	
授業の実施形態	対面型授業
授業のテーマ	少年司法に関する課題・論点を理解する。
授業の内容	この授業では、少年司法制度について近年指摘されている課題や論点について学びます。 1日目ではサマーセッション「少年法A」において取り上げた少年司法制度の全体像を復習し、2日目以降には近年、少年法や非行少年を巡り指摘されている事柄について学びます。 なお、上述のとおり、1日目には少年司法制度の全体像についての学修を行います。時間の制約上、ごく簡潔に取り扱うこととなります。
到達目標	少年司法制度の全体像を理解したうえで、非行少年や非行少年処遇に関するさまざまな論点を説明できるようになる。

授業計画	
第1回	ガイダンス＋少年司法制度復習：少年法の基本性格と人的対象、健全育成目的
第2回	少年司法制度復習：家裁送致、鑑別と調査、家裁の審判
第3回	少年司法制度復習：要保護性、審判不開始・不処分、保護処分①
第4回	少年司法制度復習：保護処分②、逆送、少年に対する刑事処分
第5回	前日の授業内容についての小テスト＋脳科学の知見①
第6回	脳科学の知見②
第7回	小児期逆境体験
第8回	虐待経験のある少年の処遇
第9回	前日の授業内容についての小テスト＋特定少年①
第10回	特定少年②
第11回	少年事件の裁判員裁判
第12回	少年院での処遇①
第13回	前日の授業内容についての小テスト＋少年院での処遇②
第14回	少年の社会復帰
第15回	最終試験
授業時間外の学習方法	この授業はスプリングセッションとして実施しますので、各回の事前学修・事後学修を行うのはスケジュール上困難であると思われるため、ここでまとめて指示します。 【事前学修】スプリングセッション各日の授業が始まるまでに、K-SMAPYⅡにアップロードしたレジュメを一読しておいてください。 【事後学修】各日の授業が終わった後にはレジュメの内容や自身が作成したメモなどを読み返し、授業内容の振り返りを行ってください。 スプリングセッション2, 3, 4日目の1限目の冒頭には、前日の授業の内容を理解しているか確認する小テストをフォームを用いて行います。 第15回の授業では最終試験を実施します。 それらに向けた学修を行ってください。

成績評価の方法・基準		
評価方法	割合	評価基準
授業時試験	70%	授業の内容を理解し、少年司法制度についての正しい知識に基づき、非行少年処遇に関する論点について根拠を示しながら意見を述べるができるかを評価するために、論述問題を含むテスト（70点満点）を実施します。その点数に基づいて評価します。

平常点	30%	スプリングセッション2, 3, 4日目の1限目を実施する小テスト（各20点満点）の点数に基づいて評価します。
-----	-----	--

注意事項	この「少年法B」を履修するには、「少年法A」を履修済みであるか、少年司法制度の全体像を把握していることを推奨します。 映像資料を閲覧することを予定しています。	
------	--	--

教科書・参考文献等	
教科書	
教科書は特に指定しません。	
参考文献コメント	
授業中に適宜紹介します。	